

筑後市長選で討論会

来月3日 2候補予定者参加

筑後市長選(11月8日告示、同15日投票)の立候補予定者による討論会「ローカル・マニフェスト型ちっごみらいづくり公開討論会」が同日、サザンクス筑後大ホールで開かれる。筑後青年会議所などでつくる市民団体ちっごいきいき協議会の主催で、前回市長選でも討論会を開き、選挙後はマニフェストの検証を続けてきた。同協議会の小野田耕会長は「主張と政策が正確に伝わる場にした。多くの人が参加してほしい。投票の判断材料にしてほしい」と呼びかける。

市長選には、元副市長の中村征一氏(67)と元市議会議長の弥吉治一郎氏(60)の新顔2人が立候補を表明。立候補予定者説明会に参加した別の1人は23日、立候補断念を発表したため、両氏による一騎打ちになる公算が大きい。討論会は3日午後6時半から。日本青年会議所九州地区長崎ブロック協議会前会長の北村貴寿氏をコーディネーターに、立候補予定者2人に基本理念や市の現状認識、長期

的な構想を語ってもらう。また、協議会が用意した①行財政改革②環境問題③市立病院④保健・福祉・医療⑤商工観光⑥都市基盤⑦協働社会⑧教育文化の項目と、候補者が重要視する政策二つについて、期限や財源、手法などを示して、意見を語ってもらう予定。

2人のマニフェストは26日から同協議会のホームページ(http://www.geocities.jp/chiggo_ikiiki)に掲載するほか、筑後青年会議所(同市和泉455の1)でも配布する。事前に2人への質問をメール(kogakazuhir.o@gmail.com)かファクス(0942・52・7529)で受け付ける。

同協議会は、前回市長選後は毎年1回、市長による報告会を開きマニフェストを検証してきた。古賀和広副会長は「報告会では、今後どうしてほしいかという声を市長に届けることもできる。批判するだけでなく、応援する機会にもなれば」と語った。討論会の問い合わせは古賀さん(090・96805・0879)へ。

筑後

久留米支局
TEL 0942・34・1131
FAX 0942・38・8481
久留米市篠山町
3の168の24

大牟田支局
TEL 0944・53・2061
FAX 0944・51・5984
大牟田市曙町1の5
コスモビル2階
柳川支局

立候補予定2氏討論

地域振興など公約訴える

8日に告示される筑後市長選の立候補予定者2人によるマンIFESTO討論会が3日夜、同市のサザンクス筑後で開かれた。行財政改革、地域振興策などの公約が披露され、市民約800人が耳を傾けた。

体でつくる「ちっごいきいき協議会」が市民に投票の参考にしてもらおうと企画。ともに新人の元副市長・中村征一(67)、同市議・弥吉治一郎(60)の両氏が出席した。

中村氏は九州新幹線・筑後船小屋駅の開業などを



選挙公約を披露する中村氏(左)と弥吉氏

生かした振興策を重要政策に挙げ、「新幹線で通勤する人が出てくる。民間による住宅開発を視野に入れたまちづくりをしたい」と語った。このほか、女性副市長の登用による男女共同参画の推進や、新規作物の栽培に取り組む農家への市独自の支援なども掲げた。

弥吉氏は「事業見直しで税金の無駄遣いをなくす」と強調。市予算で県営筑後広域公園内に温泉施設を整備するのに反対し、「その財源を利用してJリーグ犬塚駅前に図書館を建設したい」と語った。船小屋温泉郷を大正ロマン調に整備して湯治場として復活させる計画や、学童保育料の引き下げなども訴えた。

下妻、古島、二川3小統合計画

筑後市「当面は現状維持」

筑後市が検討していた市南西部の下妻、古島、二川の3小学校の統合について、同市は「当面は現状を維持する」との結論をまとめた。地元住民らに報告した。

3校は児童数の減少が著しく、数年以内に複式学級になることが避けられない

しかし、その後、古島地区で市営住宅が建設され、児童数が大幅に増えた。九州新幹線・筑後船小屋駅の開設や国道442号バイパスの開通なども控えており、3校とも児童数の増加につながる要因があるとして、当面は状況を見守るべきと判断したという。



柳館(0944・72・1037)へ。(鶴結城)

筑後

【支局】

久留米〒830-0022久留米市城南町22-10

☎0942-32-2121 F A X 31-7260

【通信部】

大牟田

0944-53-5551

F A X 53-5559

柳川

0944-72-4749

(F A X兼用)

【西部本社】

〒810-8581福岡

市中央区赤坂1-

16-5

メールアドレス

s-syakal@yo

miuri.com

購読配達は

読売会

0942-53-0022

F A X 53-0025

広告は

0942-32-3666

折り込みは

久留米

0942-44-8621

筑後

0942-53-6458

大牟田

0944-52-1195

基本理念や政策語る

立候補予定2氏 討論会に市民800人

任期満了に伴う筑後市長選（8日告示、15日投票）の立候補予定者による公開討論会が3日、同市若菜のサンクス筑後で開かれた。出馬表明している前副市長の中村征二氏（67）と、市議の弥吉治一郎氏（60）がそれぞれのマニフェストについて考えを示し、有権者ら約800人が熱心に耳を傾けた。

【松尾雅也】

討論会は筑後青年会議所などのメンバーでつくる「ちっこいきいき協議会」（小野田耕会長、20人）が投票の参考にもらおうと企画。両氏は、事前に提出した基本理念や重

要政策などの共通テーマについて考えを発表し討論した。重要政策の一つとして弥吉氏は「民間活力を利用しながら若い夫婦の世帯でも購入でき低価格の分譲住宅を

整備することで子供の数を増やし、二川、古島、下妻の各小学校の統廃合計画を撤回する」と語った。

中村氏は「市の玄関口JR羽犬塚駅周辺の整備を進めて人の集ま

る地域にする。新幹線筑後船小屋駅も広域公園を生かした整備をし、元気で活力あるまちづくりをする」と語った。

また、行財政改革について中村氏は「05年から進めた第4次行政改革で事務事業の見直しを進め、職員数を40人減らし人件費だけで17億円を削減した。今後は第5次として更に踏み込

んだ改革をやる」と訴えた。弥吉氏は「行政にも経営の考えが必要だ。投資に対する効果を判

断して徹底的に税金の無駄をなくす。経営感覚であらゆる施策の見直しを進める」と主張した。



市長選立候補予定者の中村氏（左）と弥吉氏がマニフェストについて説明した公開討論会

優秀選手賞受賞を報告

筑後市消防団の田村さん



優秀選手賞に輝いた田村さん

で、優秀選手賞に選ばれた。田村さんは4日、市役所を訪れ受賞を報告した。

大会は、全国47都道府県から1チームずつが参加。5人1組で、ホースの延伸や放水のスピード、正確さを競った。

田村さんは3番員として吸水ホースを貯水槽に投入したり、放水筒を握る1番員の補助を務めたりした。無駄のない機敏な動作が評価され、全国で2人が選ばれる優秀選手賞に輝いた。

昼間は作業療法士として市外の病院に勤める田村さん。6月から毎週3、4回、仕事を終えた夜間に仲間と

もに練習を積んだ。吸水ホースに取り付けたロープの束が素早く解けるよう、結び方や束ね方に工夫をこらしたという。田村さんは「女性消防団の活動を多くの人に知ってもらえたらいいな」と笑顔で話していた。

【松尾雅也】

23日に「三湯温泉まつり」

由布院（大分県由布市）、杖立（熊本県小国町）、武雄（佐賀県武雄市）の三つの温泉合同による「九州三湯温泉まつり」が23日午

イベントでは、手軽に3温泉の湯を楽しめる足湯ならぬ「指湯」が登場。由布院の子供神楽など各地区の伝統芸能も鑑賞できる。

HONMA CHILDREN'S CLINIC
本間小児科医院
久留米市城南町14-1 ☎0942(35)3619
乳幼児健診はお早めにお電話でご予約下さい

「それぞれ特徴ある三湯を一度に体験できるめったにない機会。特に女性は、肌のすべすべ感を味わってもらいたい」と話している。問い合わせは、実行委（0954・23・9237）。【幸島朋子】

園児がウナギ1500匹を放流
佐賀県みやき町江口の江口保育園に通う4、5歳児34人が4日、佐賀、福岡両県の県境を流れる筑後川に、ウナギ約1500匹を放流した。佐賀市内の養殖場で今年2月から育てた



筑後川にウナギを

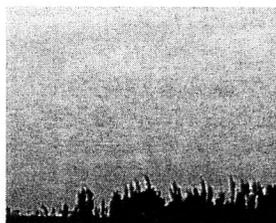
て74年から毎年行っており、この日は同県神埼市千代田町の千歳漁港と合わせて計約3000匹を放流した。筑後川は天然ウナギが取れることで知られる。だが、昭和50年代半ばには年間約30トだった水揚げは、生育環

平日10～18時

をPRする観光宣伝隊



夕暮れにお日さまがお空に紅いRougeをひいていました。中岡 康二さん (大牟田市)



夕暮れにお日さまがお空に紅いRougeをひいていました。中岡 康二さん (大牟田市)



日々ニュースに接している、ある地域で飲酒運転の摘発が目立ったり、人口の割に事件事故の件数が多かったりと、いろいろな傾向に気付かされる▼その中で最近気になるのが、自衛隊員がからんだ事件や処分といった事案の多さだ。裏を返せば、きちんと公表されていることの表れとも言えるかもしれないが、それにも警察官のそれと比べてもち

はぜの実

第22回ふるさとみずま祭 7日(土) 午前10時

イベント

など。筑後地区物産展や地産地消の取り組みなど。筑後地区物産展や地産地消の取り組みなど。筑後地区物産展や地産地消の取り組みなど。

九州各地の和太鼓グループが技を競う「第20回九州和太鼓フェスティバル」

1組5000円。市野球場に。7日(土)午後1時半、久留米市天神町の

新古賀病院5階記念講堂。乳がん健診の大切さを伝える「乳がん健診の大切さ」

鈴木修氏講演会 12日(木) 午後6時15分、久留米市櫛原町の荻香園ホテル

久留米市櫛原町の荻香園ホテル。久留米市櫛原町の荻香園ホテル。

争点 論点 疑問点

筑後市長選 8日告示

任期満了に伴う筑後市長選が8日告示される。2011年春の九州新幹線鹿児島ルート開通に伴い筑後船小屋駅が新設される。市民の暮らしはどう変わるのか。3日夜には、立候補を表明している元副市長の中村征一氏(67)と市議の弥吉治一郎氏(60)が討論会で論戦を交わしたが、平行線のままだった内容も多い。筑後市を担当する記者永松幸治(29)が課題を追った。

観光客は来るが

ハート形の鳥居、ピンクのおみくじの社、ピンクのおみくじ。3日午後7時すぎ、恋愛成就に御利益があるという筑後市水田の恋木神社を訪れた。クリスマス前には彼氏がほしい。友人2人と自家用車で訪れた佐賀市の会社員女性(21)もその一人。おみくじの言葉を何度もかみしめ、懸命に、恋人ができるように祈願していた。全国的にも珍しいからだろう。ほとんど宣伝し

具体性欠く活性化案

観光資源はあるのに、何かもったいない。客足遠のく温泉 恋木神社から南東に約2キロの船小屋温泉。炭酸と鉄を多く含有し、整腸作用がある飲泉としてかつては栄え、最盛期の1950年ごろには40軒近くの旅館が並んでいた。だが現在は5軒程度に激減。温泉を訪れる客も年間5万人程度で6分の1ほどに落ち込んでいる。

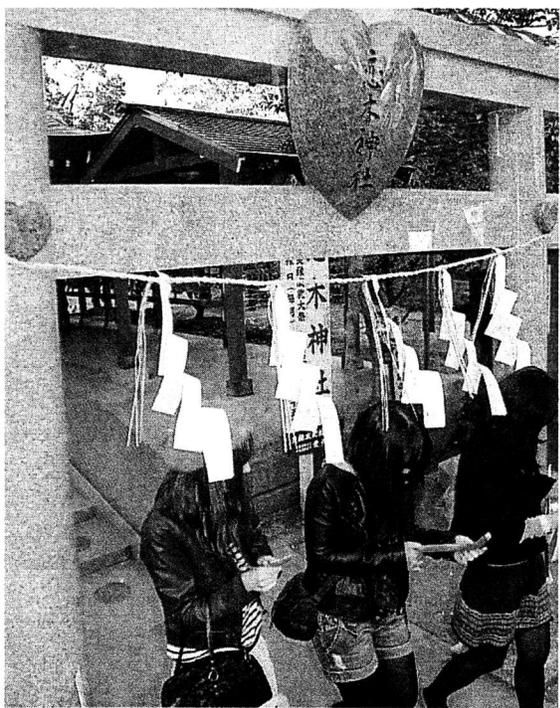
温泉掘削に賛否 3日夜、同市若菜のザンクス筑後。今年一番の寒波に見舞われたこの日、ちっこいきい協議会が主催する討論会に、千人近い市民が訪れた。3時間の長丁場だったが、途中で席を立つ人はほとんどいなかった。

設置予定の温泉入浴施設をめぐり両氏の意見が分かた。市は探査費用など約8600万円を予算化。これを含めて、今後実施建設に計5億2千万円(国、県の補助を含む)の計上を見込む。中村氏は「既存の飲泉に加えて、入湯できる天然温泉が市の活性化に必要」と建設推進の立場。

「私の頭の中にある」 両氏が将来構想を語る時に度々出た言葉だ。時間の制約があるにせよ肝心なところがあまいな印象はぬぐえなかった。今後の両氏の具体的な説明に期待したい。

観光

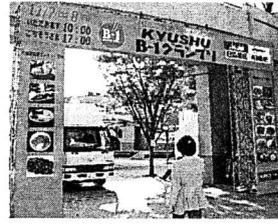
車で20分、川下りで知られ、120万人が訪れる水郷、柳川市の観光客も取り込めてはいない。筑後船小屋駅には周辺自治体の観光地情報が提示される予定。市は観光客の循環活性化を狙うというが、観光ルートを掲示したりパンフレットを作るだけでは、今と変わりにない。有権者は具体的手法の違いを聞きたいのではないだろうか。



恋木神社は平日、週末を問わず恋愛成就を祈願する参拝客が多く訪れる

ケイタイ写真館

B級グルメの聖地久留米に7、8日、ご当地グルメが集結です。水ノ江秀子さん(久留米市)



4日の衆院予算委員会。岡田克也外相の「公約と選挙中の発言はイコールではない」との発言に耳を疑った▼この発言が正当化されれば、有権者にとっては『イコールではない』選挙中の発言を聞いても無意味ということになる。政治家には便利だ。政治家の発言を軽視したものと受け取られる予想だにしない言葉に、白熱していた与野党の論戦も一瞬、凍

なぜの突

いい街目指し「愛祭り」テーマに

大牟田市

「いきいきふれ愛あきない祭り」のポスターを持つ実行委メンバー



ピン人形作りの的場 忠さん(90)

健康、食などをテーマに出で多くの人と触れ合多彩な催しを準備している。2000年から毎年開催し、今回は10回目。光山一生実行委員長は「障害がある人こそ、街の散策ができる。今回、初めて学生が参加。有明高専生が、階段チェック(7日のみ)を行う。松屋跡地では特設ステージで音楽、踊りなど多彩なグループが出演する。

争点 論点 疑問点

筑後市長選 8日告示

聞き心地いいが 感が漂った。記者も耳を澄ませた。

3日夜のマニフェスト 討論会。それまで市民の生活上など耳に「心地よい」公約を勢いよく訴

改善への道示せるか

えていた市長選立候補者明者の2人に、コーディネーターが予定になかった質問を突如ぶつけた。「市政を進めていく上で、有権者の痛みを伴うことは出てこないのですか」

壇上の中村征一前副市長(67)と弥吉治一朗市議(60)の顔は一瞬、こわばり、会場はシーンと緊張

財政

若市だけだという。市民の要望が多い図書館建設の計画も数年前、建設の話が浮上したが財政難で頓挫した。手狭な市図書室でしのぐ。週末や休み期間中などは、市図書室の外側にある中央公民館ロビーの机は勉強をする学生でにぎわうことが多い。学生からは「図書室は狭く中から、ごみ袋(50リットル)の価格が20円から40円に倍増。ごみ減量化などの目的もあるが、市民の生活にも痛みが表れている。13億の支出控え 筑後市の財政の現状を示すデータは、筑後地区では悪い方ではない。近隣の大川市などより良い数値になっている。

しかし、九州新幹線の新設などで、今後大きな支出が見込まれる筑後市の庁舎。開業後、活性化につながる効果的な街づくりが行われなければ投資は無駄に終わってしまう。

は、長引く不況に市財政も厳しく、新幹線がきただけで生活が一変するとは誰も思っていない。「国から自治体に支出される」地方税交付金も安定していない(同市財政担当)と、厳しい台所状況になっている。市民に取材した限りで説明すべきだろう。

新たな事業の裏で、何が削られ、どれほどの借金が残し、どんな影響が考えられるのか、具体的な痛みを有権者に説明すべきだろう。

に入れたいことも少しば。調べものがあったら、調べることも...と不満の声も聞かれる。図書室の利用冊数は2005年度から4年間で1.8倍に増加。読み聞かせなどのボランティア人数も5倍に増えたが、準備スペースの確保もできない。筑後市では、08年4月院はどこも経営が厳し



九州新幹線駅新設などで、今後大きな支出が見込まれる筑後市の庁舎。開業後、活性化につながる効果的な街づくりが行われなければ投資は無駄に終わってしまう。

ケータイ写真館

突然変異？白いベニア
ズマ。種芋にして来年の
楽しみになります。石橋
寿夫さん (久留米市)



「衰退はひどくなる一方で…」何とかし
ないと街がつぶれる」
大牟田支局に着任して
何度こんな言葉を聞か
されたことか。初めて
住み始めた者にとって
は「いったいこの街は
どんな街なんだろう」と
と何ともいえない不安
が襲った▼パートがあ
った場所は更地とな
り、商店街は「シャッ
ター通り」になってい
る。人口はピーク時か
ら半減して12万人。高

論点 争点 疑問点

筑後市長選 8日告示

高齢化を逆手に

「元気で長生きな村に
する」。8月、筑後市・
中折地区の太田黒一八
区長(65)は宣言した。

市内の76行政区で最も
高齢化率が高く、65歳以
上が43%を占める。主産
業の農業は後継者も少な
い。「引きこもりがちな
高齢者も多い」(太田黒
区長)地域だった。

市民の力も試される

作りまじゅう200個
が完売するのを見て、太
田黒区長は手応えを感じ
た。「地域が輝きたした」
地区内の高齢者がほと
んどかわるようになし
て、地域の力を引き出し
て、結果させるこの「仕掛
け」こそが、まちづくり
の一步ではないだろう
か。

今月1日、しとしとと
朝から雨が降る中、同地
区の初挑戦が始まった。
テント内で慌ただしく動
き回る元気な高齢者。地
域で育てた野菜や古代米
は中折地区のように過

疎化が深刻化している。
財政が厳しく、行政頼
りには限界がある。そこ
で求められるのが市民と
行政との協働だ。
「コミュニティバス
「みどり号」を運行する
下妻校区はそのお手本。
民間バスが15年前に路線
を廃止、地域の足がなくな
った。地域は市にバス
の運行を求めたが、返事
はNO。代わりにワンポ
ツクスカー提供を提案
し、自主運行を勧めた。
運転手、資金などを自
分たちで確保し、バスを
走らせて6年。みどり号
は地域のシンボルになっ
た。バス運営協議会の井
口真会長(76)は「自分た
ちでも、やれる自信があ
った」と振り返る。
意識啓発がカギ
高齢化が進み人が減っ

自治

行政頼りに限界
交通の便が良く、人口
もわずかながら増加して
いる筑後市。だが、南部
は中折地区のように過



市民へ自らの政策を訴える中村征一氏(左)と
弥吉治一郎氏

「必要にかられた
残る。」「必要にかられた
からわれわれはやった。
うか。
3日のマニフェスト討
論会。立候補を予定して
いる中村征一前副市長
(67)と、弥吉治一郎市議
(60)はともに、地域住民
による協働社会の実現の
重要性を説いた。
かし取り役を決める市
長選は8日告示される。
(大川支局・永松幸治が
担当しました)

をする児童



児童が中学で太鼓演奏
うきは市・御幸小6年生
進学後の戸惑い解消目指し
うきは市立御幸小6年 出したものや、手づくり
生がこのほど、近くの浮
羽中で行われた文化祭を
同小の矢野昌之校長は

教育
子育て
メドレーなど12曲を披露
のほど、地域の高齢者80
人を招待して、手作りの
る舞った写真。
地域との交流を図るた
めに開校当初から実施し
ており今回で15回目。高
齢者は地域の老人会に呼
び掛けたり公募したりし
て招待した。弁当は、2

る舞った写真。
地域との交流を図るた
めに開校当初から実施し
ており今回で15回目。高
齢者は地域の老人会に呼
び掛けたり公募したりし
て招待した。弁当は、2